

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	公表:平成 30 年 11 月 10日				事業所名:ひゅーるぼん ひよこ組
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	2 職員配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		国の4:1基準以上の配置をしています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		幼児の身長に合わせた手洗い・トイレ・手すりを設置しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		パーテーションで物理的構造化をはかっています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		今年度より評価がはじまりました。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		今年度よりはじまりました。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		センター運営委員会などでのご意見を反映させていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		外部研修だけでなく、ひよこ組内での研修やケースカンファレンスを実施しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		毎回アセスメントの記入を保護者にもお願いしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		KIDS・新版K式・WISCを使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		ひよこ組のすべてのスタッフがガイドラインを所持し、内容を確認しながら計画作成をしています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		計画と記録が連動する記録様式を使用しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		グループ療育の充実をはかっています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		季節や文化を大切にしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			勤務時間の関係で9時半までは準備や打ち合わせの時間としていますので引き続き見守りの協力をお願いします。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		懇談結果など全員が共有できるようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年ごとの個人懇談を実施しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		オープンスペース2箇所では保育士・保健師の発達相談を実施しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			受け入れていません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			受け入れていません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		並行通園されている園に出向き情報共有を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		入学の際に個別記録の提出や担任の先生との情報共有を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		療育センターでの合同研修や、作業療法士との連携をしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		必要な子どもさんには園庭開放の参加をすすめています。	現在は交流の予定はありません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		ひゅーるぽんとして子ども部会に参加しています	子ども部会の報告を共有できる体制を作ります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日の連絡ノートで様子をお伝えしています。	聞きたいと思われたことは遠慮なくスタッフに聞いてくださいね。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		心理職が中心となり年3回程度実施しています。		
保護者への説明書	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご不明なことがあれば遠慮なくお聞きください。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			ご不明なことがあれば遠慮なくお聞きください。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			じっくりお話ししたい時も遠慮なく教えてください。時間調整をして対応します。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		ひよこサロンを月1回程度実施し、交流できる時間を作っています。	
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご不安なことなどありましたら遠慮なくお伝えください。

任 等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月「ひよこだより」「予定表」を発行し情報共有につとめています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人ファイルなどはすべて施錠できる場所で管理しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡ノート、電話、場合によってはメールを使用しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		オカリナコンサートなど、地域の方がひよこ組療育に参加しています。	
非 常 時 な ど の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		療育計画にマニュアル確認月を決め、確認を行っています。	マニュアルがあること、またその内容について説明する機会をひよこサロンで新年度に設けます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		こどもの避難袋を準備しました。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		保健師と連携しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		管理栄養士・保健師と連携しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記録とともに改善策をひよこ会議で協議しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎期の初めにひよこマニュアル確認を行うなかに虐待防止項目も加えています。	ひゅーるぽん全体で年1回の虐待防止研修を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		現在身体拘束の対象児はいません。お散歩の際の手つなぎについては契約説明の際に保護者に了承を得ています。	